

問1 15世紀前後のアジア諸国との貿易において、九州の港町である博多が果たした役割や背景についての説明として、最も適切なものはどれか。

(2025年 秋田県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------------|
| 1. 自由都市として栄え、種子島に伝来した鉄砲を大量生産する拠点となった。 | 2. 遣隋使や遣唐使の時代から、近畿地方にある唯一の対外貿易港として知られた。 | 3. 勘合貿易を独占的に管理するため、室町幕府が本拠地を置いた唯一の港であった。 | 4. 日明貿易の拠点として機能し、大陸の文化や物資が流入する窓口となった。 |
|---------------------------------------|---|--|---------------------------------------|

問2 12世紀後半から16世紀後半にかけての日本の建築や文化の変遷をまとめた記録において、慈照寺銀閣が造営された時代背景やその特徴を述べた文として、最も適切なものはどれですか。

(2017年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 大陸との貿易による富を背景に、武家と公家の文化が融合した金箔を多用する豪華な様式で建立された。 | 2. 応仁の乱などの動乱が続く中、政治から退いた足利義政が隠居所として営み、自身の精神性を反映させた。 | 3. 戦国大名が自らの権力を誇示するため、天守閣を備えた壮大な城郭建築が各地に築かれた。 | 4. 鎌倉幕府の成立に伴い、質実剛健な武士の気風を象徴する重層的な寺院建築が全国に広まった。 |
|--|---|--|--|

問3 室町時代の14世紀から15世紀にかけて、農民たちが自立性を強め、自衛や灌漑用水の管理を行うために結成した自治的な村の組織を何といいますか。

(2018年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------|--------|-----------|------|
| 1. 蔵屋敷 | 2. 口分田 | 3. 惣 (惣村) | 4. 座 |
|--------|--------|-----------|------|

問4 室町時代に大成された芸能である「能」の背景について述べた文章として、最も適切なものを選んでください。

(2017年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 8代将軍足利義政が、庶民の間で流行していた歌舞伎を武士の教養として取り入れるよう命じたことで確立された。 | 2. 3代将軍足利義満が観阿弥・世阿弥の親子を保護し、幕府の儀式に採用されるなどの支援を行ったことで大成された。 | 3. 日明貿易 (勘合貿易) によって明から伝来した仮面劇が、日本の伝統的な神楽と結びついて成立した。 | 4. 江戸時代の身分制度のもとで、武士のみが鑑賞を許される格調高い芸術として、幕府の直轄地で独自に発展した。 |
|---|--|---|--|

問5 15世紀から16世紀にかけて、琉球王国は東アジアや東南アジアを結ぶ海上交通の要所として繁栄しました。この時期の琉球が行った、他国から輸入した産物を加工せずにそのまま別の国へ輸出することで利益を得る貿易形態を何といいますか。

(2019年 広島県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 朝貢貿易 | 2. 勘合貿易 | 3. 南蛮貿易 | 4. 中継貿易 |
|---------|---------|---------|---------|

問6 室町幕府の組織において、将軍を補佐して幕政全体を統括した最高の役職を何といいますか。足利氏の一族である細川・斯波・畠山の三氏といった、有力な守護大名から交代で選ばれた役職名を答えなさい。

(2026年 岡山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 老中 | 2. 執権 | 3. 大老 | 4. 管領 |
|-------|-------|-------|-------|

問7 足利義満によって始められた日明貿易で、「勘合」と呼ばれる札が用いられた理由として、当時の時代背景をふまえた最も適切な説明はどれですか。

(2015年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------|
| 1. 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため | 2. 元寇による被害に対する賠償金の支払いを、明側に証明させるため | 3. 有力な守護大名が独自に行っていた私貿易を、幕府が完全に管理・独占するため | 4. キリスト教の布教を目的とする宣教師の密航を阻止するため |
|------------------------------------|-----------------------------------|---|--------------------------------|

問8 室町時代の文化において、雪舟によって日本独自の水墨画が確立されるに至った背景として、最も適切な説明はどれか答えなさい。

(2021年

高知県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 遣唐使の廃止によって国風文化が発達し、日本独自の色彩豊かな絵画様式が求められたこと | 2. 江戸幕府の文教政策によって、町人の間でも手軽に楽しめる多色刷りの版画が流行したこと | 3. 南蛮貿易によってヨーロッパの油彩画の技術が伝わり、遠近法を用いた写実的な表現が広まったこと | 4. 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと |
|--|--|--|---|

問9 室町時代の文化の特色について、特に慈照寺 (銀閣) にある「東求堂同仁斎」に代表される建築様式とその背景を説明した文として、最も適切なものはどれか。

(2019年 埼玉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 貴族の住居様式である寝殿造を簡略化し、外観に金箔を貼ることで、武士の権力と浄土への憧れを視覚的に表現した。 | 2. 宋から伝わった大仏様という力強い建築様式が採用され、民衆の力強さを象徴する巨大な木造建築が各地に建立された。 | 3. 仏教の無常観に基づき、質素な隠遁生活を好む文人の精神を反映した、壁のない開放的な庵のような建築様式が流行した。 | 4. 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や連棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。 |
|--|---|--|--|

問10 鏡湖池のほとりに建ち、金箔が施された三層の楼閣で知られる文化遺産が建立された時期の、外交や経済の背景について述べた文として正しいものはどれですか。

(2016年 愛知県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|--|
| 1. 幕府が明 (みん) との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。 | 2. 日宋貿易によって大量の宋銭が国内に流入し、貨幣経済が全国的に普及し始めた平安時代末期の時期にあたる。 | 3. 元寇の際の恩賞が不十分だったことから、御家人の生活が困窮し、幕府の権威が急速に衰退していた時期にあたる。 | 4. 豊臣秀吉による朝鮮出兵が失敗に終わり、東アジアにおける日本の外交的立場が孤立していた時期にあたる。 |
|---|---|---|--|

問11 鎌倉時代から室町時代にかけて、武家政権の支配力が全国へと拡大していく過程を説明した内容として、歴史的事実に基づいた正しいものはどれですか。

(2024年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|---|---|--|
| 1. 後鳥羽上皇が隠岐に流される前に南北朝の合体が行われ、それを不服とした守護・地頭が応仁の乱を引き起こして戦国時代が始まった。 | 2. 承久の乱で後鳥羽上皇が幕府を倒したことで武家政治は一時中断したが、足利尊氏が南北朝の合体を成し遂げて再び武家支配を確立した。 | 3. 応仁の乱によって幕府の権威が全国に及ぶようになり、守護・地頭が各地の守護大名へと成長して南北朝を合体させた。 | 4. 源頼朝が守護・地頭を設置して全国支配の基礎を固めた後、承久の乱で後鳥羽上皇を破って六波羅探題を置き、支配を西国まで広げた。 |
|--|---|---|--|

問12 14世紀末から15世紀前半にかけて、日本と明との間で国交が樹立され貿易が始まった時期の対外関係の状況について説明した文として、最も適切なものはどれですか。

(2026年 熊本県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 南蛮貿易の開始によって海賊の取り締まりが不要になり、倭寇の活動が沈静化した。 | 2. 明との貿易が全面的に禁止されたため、私的な密貿易を行う倭寇の活動が急増した。 | 3. 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。 | 4. 朱印状を持った貿易船の増加に伴い、沿岸部での海賊行為がより激しくなった。 |
|---|---|--|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 日明貿易の拠点として機能し、大陸の文化や物資が流入する窓口となった。	博多は、足利義満が始めた日明貿易（勘合貿易）において、九州側の拠点として非常に重要な役割を担った。また、明だけでなく琉球王国や東南アジア諸国との中継貿易も行われ、大陸の高度な文化や貴重な物資が日本へ持ち込まれる入り口となった。選択肢にある「鉄砲の量産」は堺や国友、「近畿地方にある」は堺や兵庫の説明であるため誤りとなる。
問2	答え 2 応仁の乱などの動乱が続く中、政治から退いた足利義政が隠居所として営み、自身の精神性を反映させた。	足利義政は応仁の乱という大きな戦乱の最中に、政治から離れて東山山荘（慈照寺）の造営に没頭しました。この隠居所での生活から、禅宗の教えに基づいた簡素な美しさを尊ぶ東山文化が深化しました。金箔を用いた豪華な様式は、義満の時代の金閣（北山文化）の特徴であり、銀閣とは対照的です。
問3	答え 3 惣（惣村）	室町時代、農民たちは「寄り合い」と呼ばれる会議を開いて村独自のルール（村の掟）を定め、自分たちで村を運営するようになりました。このような自治組織を「惣（惣村）」と呼びます。選択肢にある「座」は商工業者の同業者組合、「蔵屋敷」は江戸時代に諸藩が年貢米などを売るために設けた施設、「口分田」は古代の律令制下で農民に割り当てられた土地を指します。
問4	答え 2 3代将軍足利義満が観阿弥・世阿弥の親子を保護し、幕府の儀式に採用されるなどの支援を行ったことで大成された。	能は、もともと寺社の祭礼などで演じられていた猿楽や田楽をもとに、観阿弥・世阿弥親子によって芸術として完成されました。時の権力者である足利義満が彼らの才能を見出し、手厚い保護を与えたことが、能が武家社会の公式な芸能として定着する大きな要因となりました。歌舞伎は江戸時代の文化であり、能は室町時代を代表する芸能です。
問5	答え 4 中継貿易	琉球王国は自国の産物だけでなく、明（中国）から輸入した生糸や陶磁器を日本へ、日本から輸入した刀剣や銅を明や東南アジアへ、さらに東南アジアの香辛料を明や日本へ転売する役割を担いました。このように、他国間の取引を仲介する貿易を中継貿易と呼びます。当時、明が民間人の海外渡航を禁じていた「海禁」政策をとっていたことも、琉球が仲介役として活躍できた一因です。
問6	答え 4 管領	室町幕府において将軍に次ぐ最高の地位を管領と呼びます。鎌倉幕府の執権に相当する役割を担いましたが、特定の一族が独占した執権とは異なり、有力な守護大名が持ち回りで就任する仕組みとなっていたのが特徴です。これにより、将軍と有力大名の協力による連合政権的な性格が強まりました。
問7	答え 1 東アジアの海域で活動していた倭寇と、正規の貿易船を区別するため	当時、朝鮮半島や中国の沿岸部では、倭寇という海賊集団が激しい活動を行っており、明の政府は日本側にその取り締まりを強く求めています。これに対し、足利義満は明との正式な国交を樹立。明から与えられた「勘合」を所持する船だけを正規の貿易船として認める仕組みを作ることで、倭寇による密貿易や略奪を排除し、国家間の安定した貿易を実現しようとした。
問8	答え 4 幕府による勘合貿易を通じて禅僧が明に渡り、現地の高度な芸術技法を直接学ぶ環境があったこと	室町時代に水墨画が発展した大きな要因は、足利義満が始めた勘合貿易（日明貿易）です。この貿易船には多くの禅僧が同行しており、彼らが中国の明で最新の文化や絵画技法を学び取ってきたことが、雪舟による日本的な水墨画の完成に繋がりました。他の選択肢は平安時代（国風文化）、安土桃山時代（南蛮文化）、江戸時代（元禄・化政文化）の内容であるため誤りです。
問9	答え 4 禅宗の影響を受け、畳を敷き詰め、床の間や違棚、ふすま、障子などを設けた書院造が確立され、のちの日本家屋の原型となった。	足利義政の時代に栄えた東山文化では、禅宗の影響を強く受けた簡素で奥深い美しさが尊ばれた。東求堂同仁齋に代表される書院造は、現代の和室に繋がる畳・障子・床の間といった要素を整えた様式である。他の選択肢のうち、大仏様は鎌倉時代、金箔を用いた豪華な様式（金閣など）は北山文化、無常観に基づく文学的背景は鎌倉時代の随筆などの特徴であり、東求堂同仁齋の説明としては適さない。
問10	答え 1 幕府が明（みん）との間で、倭寇と正式な貿易船を区別するための「勘合」を用いた貿易を開始し、財政を潤した時期にあたる。	鹿苑寺金閣を建立した足利義満は、明との間で日明貿易（勘合貿易）を始めました。この貿易による莫大な利益が、金箔をふんだんに使用した豪華な建築や、観阿弥・世阿弥による能の大成といった北山文化の発展を支える経済的基盤となりました。この時期は足利義満が南北朝の合体を成し遂げ、室町幕府の全盛期を築いた時代でもあります。
問11	答え 4 源頼朝が守護・地頭を設置して全国支配の基礎を固めた後、承久の乱で後鳥羽上皇を破って六波羅探題を置き、支配を西国まで広げた。	鎌倉幕府は源頼朝の時期に守護・地頭を設置し、土地の管理や警察権を握ることで支配の基盤を作りました。1221年の承久の乱において、幕府打倒を試みた後鳥羽上皇が隠岐へ配流されると、幕府は京都に六波羅探題を設置して朝廷の監視を強めるとともに、それまで影響力が弱かった西国へも支配権を拡大させました。南北朝の合体や応仁の乱は、その後の室町時代における出来事です。
問12	答え 3 明からの要求を受けて倭寇の取り締まりが進められ、海賊の活動回数が激減した。	明は国交樹立の条件として海賊である倭寇の排除を要求しました。室町幕府がこれに応じて取り締まりを行ったため、14世紀末から15世紀前半にかけて倭寇の活動回数は大きく減少しました。